

# 企業価値向上に向けた 成長戦略と資金調達 について

2025年4月14日

証券コード：9264

昨今の世界的な環境サステナビリティの潮流の中で、当社グループの有する製品・サービスは時代のニーズに合致  
今般、野村キャピタル・パートナーズ（NCAP）から当社グループの成長資金を調達するとともに、同社からハンズオンの各種支援も  
受けることで、「投資」及び「育成」による成長サイクルを加速させ、さらなる事業成長を図っていく



### 社会インフラを支える 水と空気のプロフェッショナル集団

- 環境分野の課題解決型の製品・サービスで拡大
- 複数のM&Aによる非連続な事業成長
- 新規事業の「投資」「育成」も行う両利きの経営

### 徹底的な企業価値向上支援を通じた 企業の成長ポテンシャルの最大化

- 野村グループ内外の経営資源を最大限に活用
- M&A経験豊富なメンバーによる支援体制
- ハンズオンの経営支援による各種機能の強化

NCAPからの資金及び各種支援を活用して、「投資」及び「育成」のサイクルを加速し、さらなる事業成長を図る

割当予定先は、野村グループのプライベート・エクイティ投資会社である野村キャピタル・パートナーズ（NCAP）

NCAPからは資金提供のみならず、**ハンズオンでの経営支援・事業支援も受ける** 予定であり、**強力なパートナー**になると確信

## NCAPの概要

会社概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 会社名 : 野村キャピタル・パートナーズ株式会社</li> <li>■ 所在地 : 東京都千代田区大手町2-2-2 アーバンネット大手町ビル14F</li> <li>■ 資本金 : 5億円（野村ホールディングス株式会社100%）</li> <li>■ 経営メンバー : 代表取締役社長 阿部 敬</li> </ul>
運用資金	野村キャピタル・パートナーズ第二号投資事業有限責任組合 資金総額 500億円
事業方針	多様化・複雑化するお客様の様々な課題に対し、野村グループの自己資金を活用したエクイティ等の資金提供と、人的な支援を含む様々なソリューション提供ならびにお客様との協働を通じて、課題の解決と事業成長の実現を共に目指す
投資テーマ	上場・非上場にかかわらず、幅広いニーズに対応 <ul style="list-style-type: none"> <li>■ 成長資金の提供（上場会社の場合、CB、優先株等）</li> <li>■ 事業承継、資本構成の再構築（株主集約など）、相続対策</li> <li>■ 戦略的非公開化、事業構造改革、事業再生</li> <li>■ 事業再編（カーブアウト）、成長戦略の加速 など</li> </ul>

## NCAPの特徴

NCAPは野村グループの一員として、野村グループの強みを最大限に活用し、投資先の企業価値向上に取り組みます。

### 日本経済へのコミットメント

創業以来約100年、エクイティの旗手として証券業界をリードしてきた野村グループのDNAを受け継ぎ、日本経済・産業へ長期的にコミットしていきます。

### NCAPバリューアップ専門チームによる経営支援

経営支援の実績と経験が豊富なメンバーによる事業支援により投資先企業の持続的で意義のある経営改善・変革を通じた価値創造を実現します。

### 強力なM&A支援体制

M&Aアドバイザーにおける豊富な実績から、国内外のM&Aを通じた成長を強力にサポートいたします。

### 最適かつ高度な金融ソリューションの提供

グローバルな投資銀行の総合力を発揮し、お客様の成長実現に向けた課題解決のために、最適かつ高度な金融ソリューションをご提案いたします。

NCAPは2018年の設立以来、**現在に至るまで10件**（未公表案件2件含む）の投資実績を有する

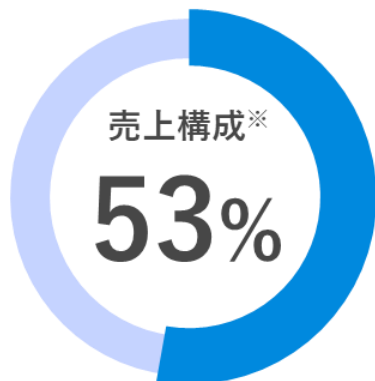
### NCAPの投資実績（公表済みの案件）

	オリオンビール（株）	（株）プラスアルファ・コンサルティング	クックデリ（株）	（株）日水コン
事業	沖縄県発祥のビール製造販売会社	世の中を「見える化」するクラウドサービス企業（SaaS型）	高齢者施設向け完全調理済み冷凍食品の企画開発及び販売	水コンサルティング
投資時期	2019年3月	2019年3月	2020年1月	2020年6月
	（株）レニアス	（株）リップス	ファーマーズホールディングス（株）	（株）タップ
事業	建設機械・林業機械等向け部品製造販売	ヘアケア商品・メンズコスメの企画・販売及びヘアサロン「LIPPS」のフランチャイズ	西日本を中心に酪農・乳業を手掛ける総合酪農グループ	宿泊施設向け管理システム（PMS）の専門ソリューションベンダー
投資時期	2021年11月	2022年6月	2023年4月	2024年12月

当社グループは、「**環境エネルギー事業**」「**動力・重機等事業**」「**防災・安全事業**」の3つのセグメントを展開  
いずれも**水と空気をテーマ**とし、「**環境サステナビリティ**」の軸で一貫している

### 環境・エネルギー事業

環境・水処理機器の製造・販売・修理及び  
メンテナンス等技術サービス



#### 取扱製品

##### 環境関連機器

水処理機器（ポンプ類、攪拌機等）

##### 環境改善機器

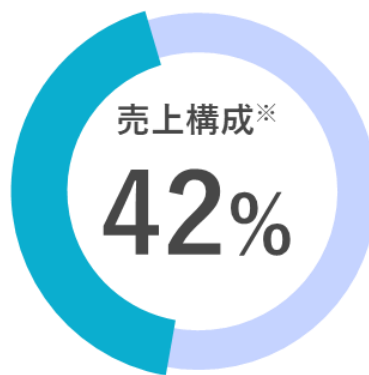
景観配慮型防潮壁（SEA WALL）、  
オゾンガス発生装置、窒素ガス発生装置、  
オゾン水製造装置、オゾン脱臭装置

##### エネルギー関連機器

プレート&シェル熱交換器

### 動力・重機等事業

船舶用機械及び部品、プラント関係機器及び  
その他動力関係部品の製造・販売



#### 取扱製品

##### 船舶用機械及び部品

エンジン台板  
小型精密部品（燃料噴射弁等）

##### プラント関係機器

ボイラー・圧力容器等

### 防災・安全事業

消火装置、その他消防機器の製造・販売・  
設置装置の保守及びメンテナンス等技術サービス



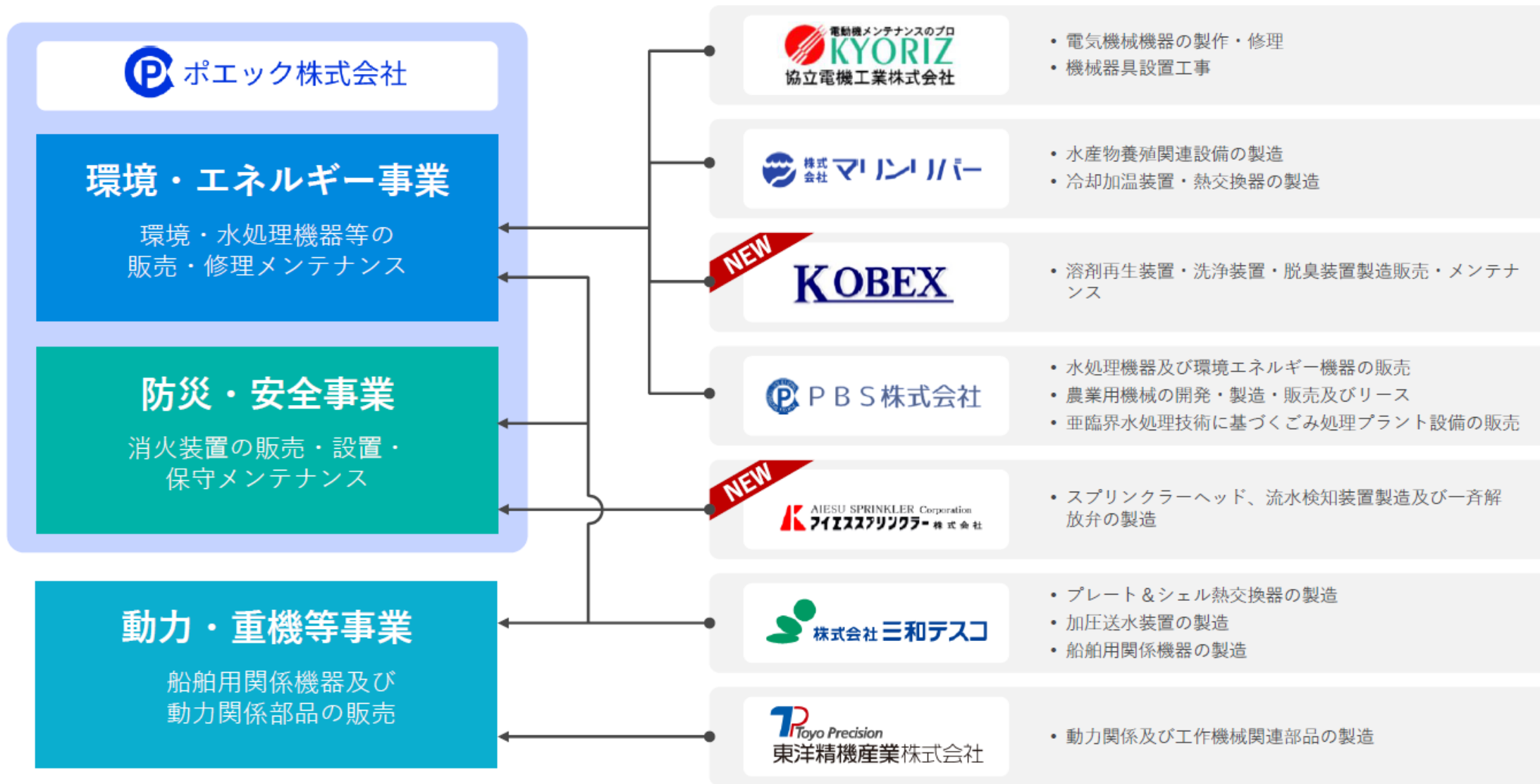
#### 取扱製品

##### 消防装置、その他消防機器

屋内・屋外消火栓  
スプリンクラー消火設備用  
加圧送水装置

※ 2024年8月期連結売上高に占める各事業の売上高

当社グループは、主に当社と連結子会社7社でグループを構成。コーベックス、アイエススプリンクラーは2024年に買収した先



既存事業では、業容拡大のためのM&A（投資）、生産能力等の強化（育成）等により安定的かつ着実な成長を実現

既存事業では、**亜臨界水処理プラント**を始めとした**成長ポテンシャルの高い領域での投資・育成**を進め、**新たな事業基盤を確立**

		テーマ		今回の 資金使途	NCAPの 支援対象
		Phase1：投資	Phase2：育成		
領域	既存事業	<p><b>A</b></p> <p>業容拡大のためのM&amp;A</p>	<p><b>B</b></p> <p>生産能力の強化</p> <p>マーケティング・営業強化</p> <p>有機溶剤回収装置の拡販</p>	<p><b>A：既存事業×投資</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>当社グループの販路拡大に資するM&amp;A</li> <li>買収後のシナジー追求（販売チャネル統合等）</li> </ul>	<p>✓</p> <p>✓</p>
	新規事業	<p><b>C</b></p> <p>亜臨界水処理プラント</p> <p>トルクオン（ベルトコンベアローラ軸受損傷検知システム）</p> <p>水耕栽培装置</p>	<p><b>D</b></p>	<p><b>C：新規事業×投資</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>新規事業（亜臨界水処理プラント等）の実用化、生産及び販売体制構築</li> </ul> <p><b>D：新規事業×育成</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>販売実績蓄積と隣接市場/企業への横展開</li> <li>新規事業の推進体制・管理体制の増強</li> </ul>	<p>✓</p> <p>✓</p>

NCAP活用によって資金・経営ノウハウ・人材を充実させ、当社の成長戦略に一層の推進力を持たせることで、中長期の確実な事業成長を実現し、グループビジョンの達成を目指す

## グループビジョン：誰もが欲しがらる『凄い技術とサービス』の創造企業

### 「投資」観点：NCAPの提供価値

- NCAPの豊富なM&AノウハウによるM&A等のターゲット企業選定、買収後のシナジー創出等
- 野村グループのネットワークを活用した、M&A及びアライアンス等のビジネス協業先の模索
- 投資採算性を意識したグループ全体の適切なキャピタルアロケーションの推進

投資

成長  
サイクル

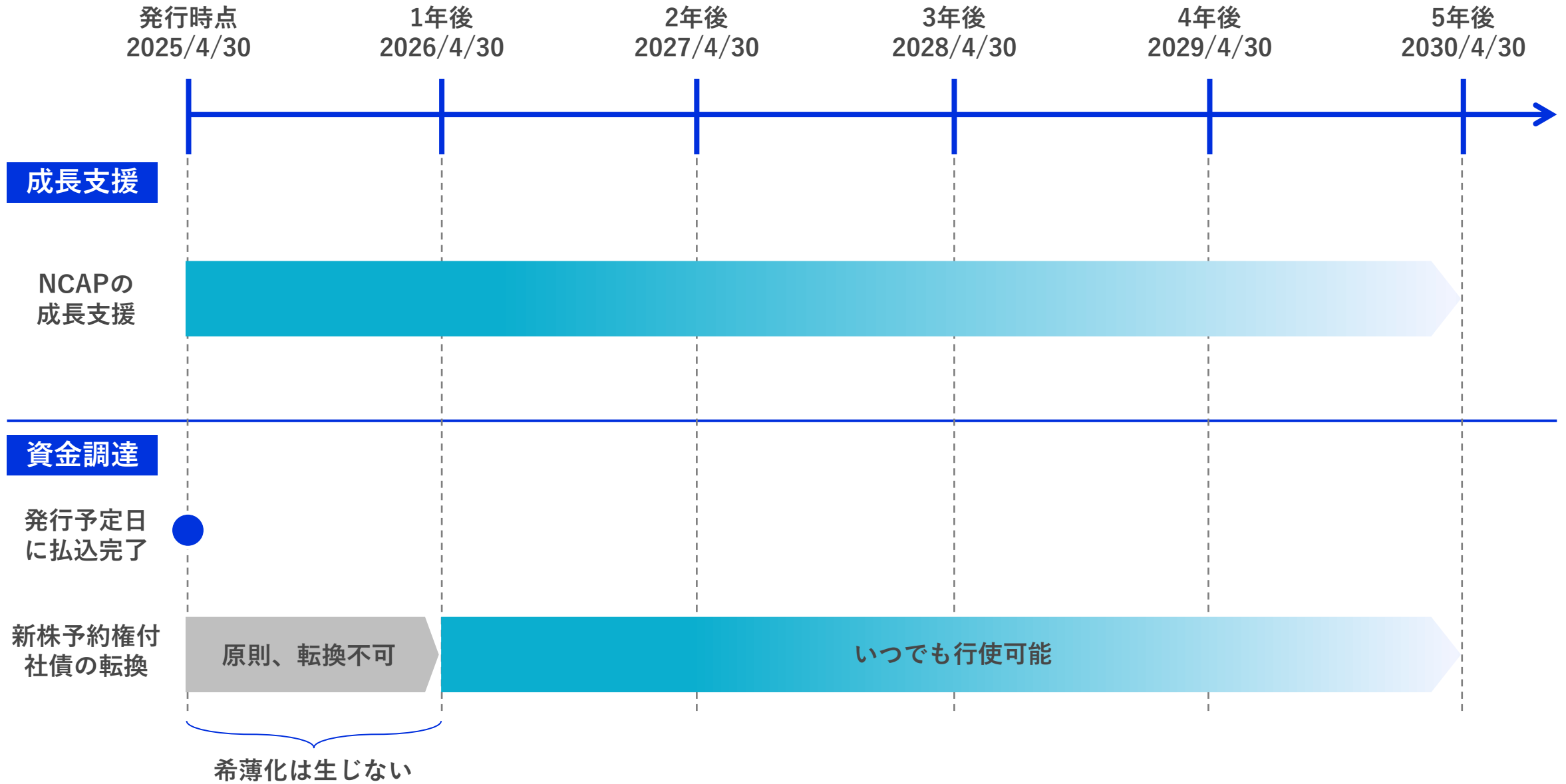
育成

### 「育成」観点：NCAPの提供価値

- NCAPの投資先支援実績に基づく既存事業の育成支援（各種施策の立案及び伴走、マーケティングや営業等の販売機能の強化、シナジー創出等）
- 野村グループネットワークを活用した既存及び新規事業の取引先紹介
- 経営管理やグループ管理体制の高度化



種類	転換社債型新株予約権付社債
発行予定日 及び 払込期日	2025年4月30日
調達予定額	20.0億円（発行諸費用除く：19.7億円）
利率	0%
満期	2030年4月30日（5年後）
転換可能期間（行使可能期間）	払込期日から5年間（但し、払込期日から1年間は転換不可）
転換価額（行使価額）	当初転換価額（当初行使価額）：1,279円 下限転換価額（下限行使価額）：1,024円
割当先	野村キャピタル・パートナーズ第二号投資事業有限責任組合
資金用途	既存事業における成長投資及びM&A資金（詳細は後述）



No.	資金使途	金額	支出予定時期	概要
1	既存事業の成長投資	667百万円		
	① 生産能力強化	300百万円	2025年5月 ～2028年8月	<ul style="list-style-type: none"> <li>環境機器生産工場の増設（取りこぼし需要に対応）</li> <li>生産機械導入、アップグレード（製造効率向上、品質安定化）</li> <li>製造拠点間のシナジー強化（生産プロセスの統合と最適化）</li> </ul>
	② マーケティング ・営業力強化	367百万円	2025年5月 ～2028年8月	<ul style="list-style-type: none"> <li>デジタルマーケティングの強化（Webマーケティング、リード獲得、ECプラットフォームの活用等）</li> <li>オンライン販売チャネル最適化（デジタル戦略を活用した販路拡大等）</li> </ul>
2	M&Aの実施	1,300百万円	2025年5月 ～2028年8月	<ul style="list-style-type: none"> <li>当社グループの基本方針である環境関連の市場トレンドに適合し、市場成長が見込まれる分野であることが前提条件</li> <li>当社グループの販路拡大に直接的な貢献が見込まれる企業がより望ましい</li> <li>M&amp;A仲介会社、NCAPのネットワークを活用して良質な案件を積極的に搜索予定</li> </ul>
合 計		1,967百万円		

## 免責事項

本資料は、当社の第三者割当による転換社債型新株予約権付社債の発行に関して一般に公表するための資料であり、一切の投資勧誘又はそれに類似する行為のために作成されたものではありません。

本資料に記載された予測、予想、見込みその他の将来情報は、本日現在当社が利用可能な情報及び一定の前提又は仮定に基づくものであり、実際の業績等は、国内外の経済情勢、為替動向その他のリスク要因により、本資料に記載された将来情報と大きく異なる可能性があります。

なお、資金調達についての詳細は2025年4月14日付当社プレスリリース「第三者割当により発行される第1回無担保転換社債型新株予約権付社債の募集に関するお知らせ」を参照ください